

地域医療構想策定に係る必要病床数の推計について

資料4 - 1

1 推計に活用したデータ

- ・厚生労働省から提供された「必要病床数推計ツール」から算出したもの
- ・当該ツールは、2013年度(平成25年度)1年分の以下のデータを用いて推計される

搭載データの種別		病名の有無
医療需要	① NDB (National Database) のレセプトデータ	あり
	上記のうち慢性期、回復期リハビリテーション病棟入院料	なし
	② DPCデータ	あり
	③ 公費負担医療分医療需要 (医療費の動向)	※
	④ 医療扶助受給者数 (被保護者調査)	※
	⑤ 訪問診療受療者数 (生活保護患者訪問診療レセプト数)	なし
	⑥ 分娩数 (人口動態調査)	あり
	⑦ 介護老人保健施設の施設サービス受給者数 (介護給付費実態調査)	なし
	⑧ 労働災害入院患者数 (労働災害入院レセプト数)	なし
⑨ 自賠責保険入院患者数 (自賠責保険請求データ)	なし	
人口	住民基本台帳年齢階級別人口	-
将来推計人口	国立社会保障・人口問題研究所 性・年齢階級別将来推計人口	-

※③④については、①②の二次医療圏、性・年齢階級、疾病による割合を用いて按分します。

2 必要病床数の算出方法

$$\text{必要病床数(床)} = \frac{\text{入院受療率(平成25年度)} \times \text{性年齢階級別人口(将来年度)}}{\text{病床稼働率()}}$$

()病床稼働率は、次の値を全国一律で用いる
・高度急性期:0.75・急性期:0.78・回復期:0.9・慢性期:0.92

3 入院受療率の算出方法

$$\text{入院受療率} = \frac{\text{医療需要(平成25年度)}}{\text{性年齢階級別人口(平成25年度)}}$$

構想区域(二次医療圏)毎に受療率を算出

4 医療需要の算出式

~ の総和を365(日)
で除する

医療需要(人/日) =

$$\begin{aligned} & \text{NDBのレセプトデータ()} \\ & + \text{DPCデータ()} \\ & + \text{公費医療データ(、、)} \\ & + \text{分娩のデータ()} \\ & + \text{介護老人保健施設サービス受給者データ()} \\ & + \text{労災保険医療データ()} \\ & + \text{自賠償保険医療データ()} \end{aligned}$$

()内の ~ はスライド1の搭載データ種別に該当

365

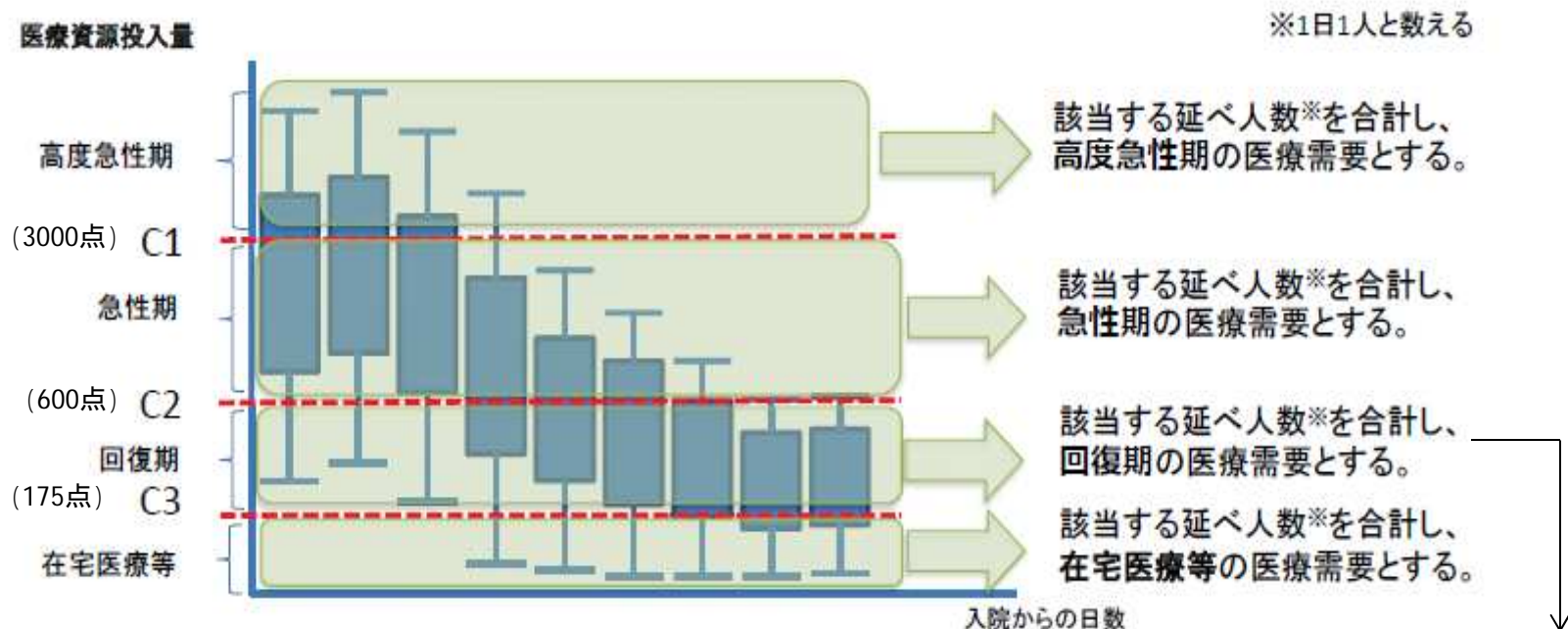
医療需要は、上記データを「病床の機能区分等」(4機能分類及び在宅医療等)、「疾患区分」(約90分類)、「性」(2分類)、「年齢」(17分類)、「患者住所地二次医療圏」(344分類)、「医療機関所在地二次医療圏」(344分類)別に算出(別記1参照)

5 医療需要の4機能分類及び在宅医療の区分方法

(1) 高度急性期、急性期、回復期の医療需要について

- DPCデータについて、疾患ごとに、当該疾患の全患者の1日当たりの医療資源投入量を入院経過日数順に並べて、C1～C3の基準に該当する患者数(人・日)を計算し、合計。

医療資源投入量: 患者に対して行われた診療行為を1日あたりの診療報酬の出来高点数で換算した値



全ての疾患で合計し、各医療機能の医療需要とする。

・回復期リハビリテーション病棟に入院する患者(一般病床、療養病床)については、医療資源投入用の区分によらず回復期で算定

・医療資源投入量が175点未満の医療を受ける入院患者であっても、リハビリテーション料を含んだ医療資源投入量が175点を超過している場合には、回復期で算定

(2)慢性期の医療需要について

ア 考え方

慢性期の医療需要については、現在の療養病床が主な慢性期機能を担っているが、診療報酬が包括算定であるため、一般病床のように医療行為を出来高換算をすることは困難であり、医療資源投入量による区分は行わない

また、慢性期機能の中には在宅医療等で対応可能な患者が一定数いることを前提に考え、慢性期の入院受療率を縮小させる目標を設定し、目標に相当する患者数を慢性期の患者数として見込む

イ 医療需要と入院受療率の算出方法



慢性期入院患者	<ul style="list-style-type: none"> 療養病棟入院基本料、療養病棟特別入院基本料、有床診療所療養病床入院基本料及び有床診療所療養病床特別入院基本料を算定する入院患者 当該入院患者のうち医療区分1である患者の数の70%に相当する数を除く
障害その他の疾患を有する入院患者	<ul style="list-style-type: none"> 障害者施設等入院基本料、特殊疾患病棟入院基本料及び特殊疾患入院医療管理料を算定する入院患者

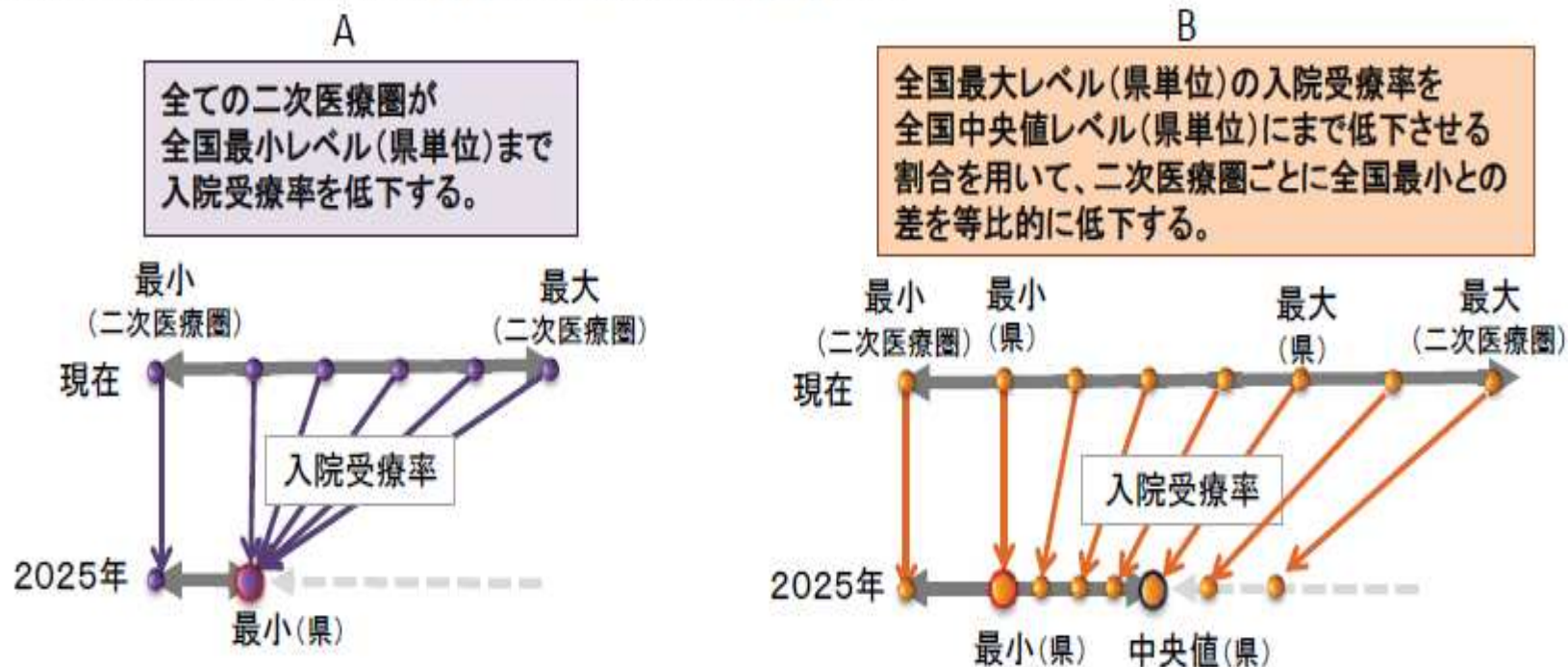
ウ 慢性期病床の地域差の解消

現在、療養病床の入院受療率に地域差があることを踏まえ、この地域差を縮小していく観点から、都道府県は、二次医療圏ごとに、パターンAからBまでの範囲内で入院受療率の目標を定めることとする。

パターンA: 全ての二次医療圏が全国最小レベル(県単位)まで入院受療率を低下する

パターンB: 全国最大レベル(県単位)の入院受療率を全国中央値レベル(県単位)にまで低下させる割合を用いて、二次医療圏ごとに全国最小との差を等比的に低下する。

【二次医療圏ごとに、パターンAからBの範囲内で入院受療率の目標を設定】



(3) 在宅医療等()の医療需要について

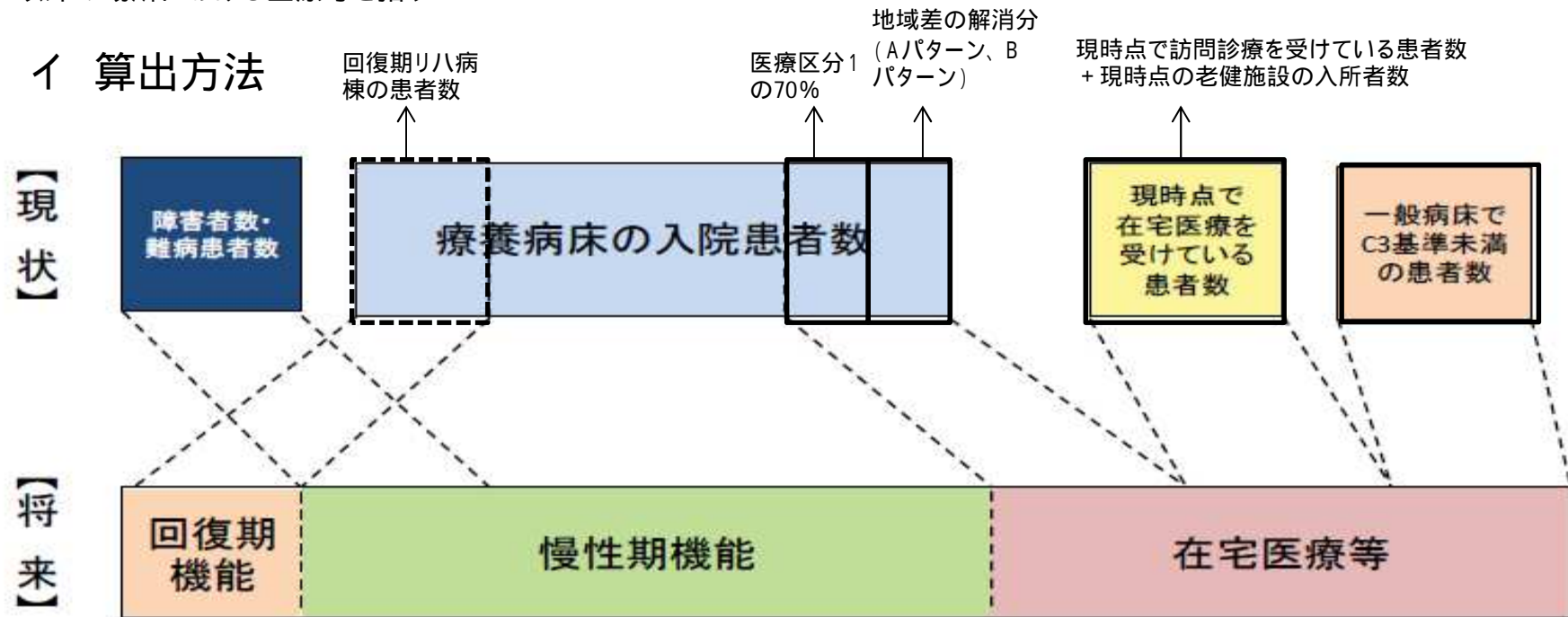
ア 考え方

現在、療養病床に入院する患者数の内、在宅医療で対応可能な患者数が一定数いるという考えに基づき、療養病床の患者数を一定数在宅医療に移行するものとして見込む

現在、在宅医療等を受けている患者数や、医療資源投入量の低い(C3未満)一般病床で入院する患者数についても在宅医療等に移行するものとして見込む

居宅、特別養護老人ホーム、老人保健施設等医療を受ける者が療養生活を営むことができる場所であり、現在の病院・診療所以外の場所における医療等を指す

イ 算出方法



- ・2013年の医療需要 = + + の合計数
- ・将来の医療需要 = + + + (それぞれ将来年度の性年齢階級別の人口を反映した数)

6 必要病床数の算出にあたっての留意事項

推計値について

・特定の個人が第三者に識別されることを防ぐため、医療需要及び必要病床数等の数が二次医療圏にあっては、10未満、市区町村にあっては100未満となる数字は非表示となっており、推計値にも含まれていない

疾病別の病床数について

・疾病ごとのデータには以下のデータが含まれていないため、必要病床数や流出入の状況を把握できない = 参考値

- ・NDBのレセプトデータのうち、慢性期、回復期リハビリテーション病棟入院料
- ・訪問診療受療者数・介護老人保健施設の施設サービス受給者数・労働災害入院患者数
- ・自賠責保険入院患者数

必要病床数は、医療機関所在地ベース、患者住所地ベースで推計されている

- ・医療機関所在地ベース：患者が受療した医療機関の所在地で患者数を推計したもの。
→患者の流出入が現状のまま継続するものと仮定して推計したもの
- ・患者住所地ベース：患者の住所地で患者数を推計したもの。
→患者の流出入がなく、入院が必要な患者は、すべて住所地の二次医療圏の医療機関の病床に入院するものと仮定して推計したもの
- ・なお、地域医療構想では、高度急性期の病床を除き、できるだけ構想区域内で対応することが望ましいと考えられていることから、**患者住所地ベースの必要病床数を基本に考えることとされている**



- ・必要病床数は、今後、医療機関所在地ベースと患者住所地ベースの必要病床数の間で、患者の流出入に関する都道府県間調整等を経て確定させる。
- ・そのため、**今回推計した必要病床数は、あくまで推計ツールで単純に算出した値であり、正式な地域の必要病床数というわけではない**

7 現状の数値について

・病床機能報告制度の数値は、不確定な要素が多い(例:他の調査よりも総病床数が少ない、4機能区分の確たる基準がない中での報告になっている)ため、必ずしも実態に即した数値ではない



・今後、病床機能報告制度の個別の医療機関の報告内容を見ながら、地域ごとに実態を把握し、必要があれば、「2025年の必要病床数の推計に係る基礎資料(資料4 - 2)」の現状の数値などを見直す(平成26年度病床機能報告制度の各医療機関の報告内容そのものを修正するものではない)

分類イメージ(必要病床数推計ツール条件抽出画面)

< 別記1 >

(1) 推計対象年度 **2025年度** **1**

(2) 医療機能 ※複数選択可 **高度急性期
急性期
回復期
慢性期
在宅医療等** **2**

(3) 慢性期(療養病床)の医療需要推計方法 **特別** **3**

(4) 年齢階級 ※複数選択可 **0~4歳
5~9歳
10~14歳
15~19歳
20~59歳
60~64歳
65~74歳
75~79歳
80歳以上** **4**

5 **すべて選択**

6 **すべて解除**

(5) 性別 ※複数選択可 **男性
女性** **7**

(6) 2013年度医療需要(流出入)の表示方法 **割合表示(%表示)
実数表示** **8**

(7) 医療需要(流出入)算出の他都道府県表示条件 **自都道府県の
全二次医療圏の医療需要が
100 人/日未満である
他都道府県の
二次医療圏を表示しない。** **9**

(8) 疾病区分

全選択(疾病別に分類しないデータを含む) **10**

個別選択(疾病別に分類しないデータを含まない) **11**

(疾病区分個別選択欄) ※複数選択可・個別選択時のみ有効

がん	MDC017神経系疾患(手術あり) がん, MDC017神経系疾患(手術なし) がん, MDC02眼科系疾患(手術あり) がん, MDC02眼科系疾患(手術なし) がん, MDC03耳鼻咽喉科系疾患(手術あり) がん, MDC03耳鼻咽喉科系疾患(手術なし) がん, MDC04呼吸器系疾患(手術あり) がん, MDC04呼吸器系疾患(手術なし) がん, MDC05循環器系疾患(手術あり) がん, MDC05循環器系疾患(手術なし) がん, MDC06のうち、上部消化管疾患(手術あり) がん, MDC06のうち、上部消化管疾患(手術なし) がん, MDC06のうち、下部消化管疾患(手術あり) がん, MDC06のうち、下部消化管疾患(手術なし) がん, MDC06のうち、肝臓・胆道・膵臓疾患(手術あり) がん, MDC06のうち、肝臓・胆道・膵臓疾患(手術なし) がん, MDC07筋骨格系疾患(手術あり) がん, MDC07筋骨格系疾患(手術なし) がん, MDC08皮膚・皮下組織の疾患(手術あり) がん, MDC08皮膚・皮下組織の疾患(手術なし) がん, MDC09乳房の疾患(手術あり) がん, MDC09乳房の疾患(手術なし) がん, MDC10内分泌・栄養・代謝に関する疾患(手術あり) がん, MDC10内分泌・栄養・代謝に関する疾患(手術なし) がん, MDC11腎・尿路系疾患及び男性生殖系疾患(手術あり) がん, MDC11腎・尿路系疾患及び男性生殖系疾患(手術なし) がん, MDC12女性生殖系疾患及び産婦人科疾患・異常妊娠分娩(手術あり) がん, MDC12女性生殖系疾患及び産婦人科疾患・異常妊娠分娩(手術なし) がん, MDC13血液・造血器・免疫臓器の疾患(手術あり) がん, MDC13血液・造血器・免疫臓器の疾患(手術なし) がん, MDC14新生児疾患、先天性奇形(手術あり) がん, MDC14新生児疾患、先天性奇形(手術なし) がん, MDC15小児疾患(手術あり) がん, MDC15小児疾患(手術なし) がん, MDC16外傷・熱傷・中毒(手術あり) がん, MDC16外傷・熱傷・中毒(手術なし) がん, MDC17精神疾患(手術あり) がん, MDC17精神疾患(手術なし) がん, MDC18その他(手術あり) がん, MDC18その他(手術なし)	その他(がん・急性心筋梗塞・脳卒中・成人肺炎・大腿骨骨折以外) MDC01:神経系疾患 その他(MDC01神経系疾患(手術あり)) その他(MDC01神経系疾患(手術なし)) MDC02:眼科系疾患 その他(MDC02眼科系疾患(手術あり)) その他(MDC02眼科系疾患(手術なし)) MDC03:耳鼻咽喉科系疾患 その他(MDC03耳鼻咽喉科系疾患(手術あり)) その他(MDC03耳鼻咽喉科系疾患(手術なし)) MDC04:呼吸器系疾患 その他(MDC04呼吸器系疾患(手術あり)) その他(MDC04呼吸器系疾患(手術なし)) MDC05:循環器系疾患 その他(MDC05循環器系疾患(手術あり)) その他(MDC05循環器系疾患(手術なし)) MDC06:消化器疾患、肝臓・胆道・膵臓系疾患 その他(MDC06消化器疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患(手術あり)) その他(MDC06消化器疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患(手術なし)) MDC07:筋骨格系疾患 その他(MDC07筋骨格系疾患(手術あり)) その他(MDC07筋骨格系疾患(手術なし)) MDC08:皮膚・皮下組織の疾患 その他(MDC08皮膚・皮下組織の疾患(手術あり)) その他(MDC08皮膚・皮下組織の疾患(手術なし)) MDC09:乳房の疾患 その他(MDC09乳房の疾患(手術あり)) その他(MDC09乳房の疾患(手術なし)) MDC10:内分泌・栄養・代謝に関する疾患 その他(MDC10内分泌・栄養・代謝に関する疾患(手術あり)) その他(MDC10内分泌・栄養・代謝に関する疾患(手術なし)) MDC11:腎・尿路系疾患および男性生殖系疾患 その他(MDC11腎・尿路系疾患及び男性生殖系疾患(手術あり)) その他(MDC11腎・尿路系疾患及び男性生殖系疾患(手術なし)) MDC12:女性生殖系疾患及び産婦人科疾患・異常妊娠分娩 その他(MDC12女性生殖系疾患及び産婦人科疾患・異常妊娠分娩(手術あり)) その他(MDC12女性生殖系疾患及び産婦人科疾患・異常妊娠分娩(手術なし)) MDC13:血液・造血器・免疫臓器の疾患 その他(MDC13血液・造血器・免疫臓器の疾患(手術あり)) その他(MDC13血液・造血器・免疫臓器の疾患(手術なし)) MDC14:新生児疾患、先天性奇形 その他(MDC14新生児疾患、先天性奇形(手術あり)) その他(MDC14新生児疾患、先天性奇形(手術なし)) MDC15:小児疾患 その他(MDC15小児疾患(手術あり)) その他(MDC15小児疾患(手術なし)) MDC16:外傷・熱傷・中毒 その他(MDC16外傷・熱傷・中毒(手術あり)) その他(MDC16外傷・熱傷・中毒(手術なし)) MDC17:精神疾患 その他(MDC17精神疾患(手術あり)) その他(MDC17精神疾患(手術なし)) MDC18:その他の疾患 その他(MDC18その他の疾患(手術あり)) その他(MDC18その他の疾患(手術なし)) MDC分類不能 その他(MDCに分類できない疾患)
----	--	--

疾患分類不能